

松本市の景気動向

— 中小企業景気動向基本調査 —

【令和3年3月】

■調査概要（データ対象期間：令和3年3月1日～3月31日）

○調査期間：令和3年3月25日～令和3年4月20日

○調査対象：市内中小企業200企業に対して郵送等によるアンケート調査

○回収状況：建設業20企業、製造業22企業、卸売業13企業、小売業27企業

飲食業19企業、サービス業42企業（運輸、不動産仲介業を含む）

<合計143企業>

○調査項目：3月の売上・仕入・営業利益・受注量・受注単価・販売(客)数・販売(客)単価

状況向こう3ヵ月の業況見通し（DI値を集計）

(注)DI(Diffusion Index)値は、売上などの各項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準と

して、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下

向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示す

ものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

※ $DI = (\text{増加・好転などの回答割合}) - (\text{減少・悪化などの回答割合})$

松本市・松本商工会議所

概況

業況DI、水準DIともにマイナス幅の縮小

1. 業況判断

○全産業合計の業況DI（前年同月比ベース）は、前月（▲38.4）よりマイナス幅が16.0ポイント縮小し、▲22.4となった。業種別では、卸売業はマイナスからプラスに転じ、サービス業、飲食業、製造業、建設業ではマイナス幅が縮小した。小売業はマイナス幅が拡大した。

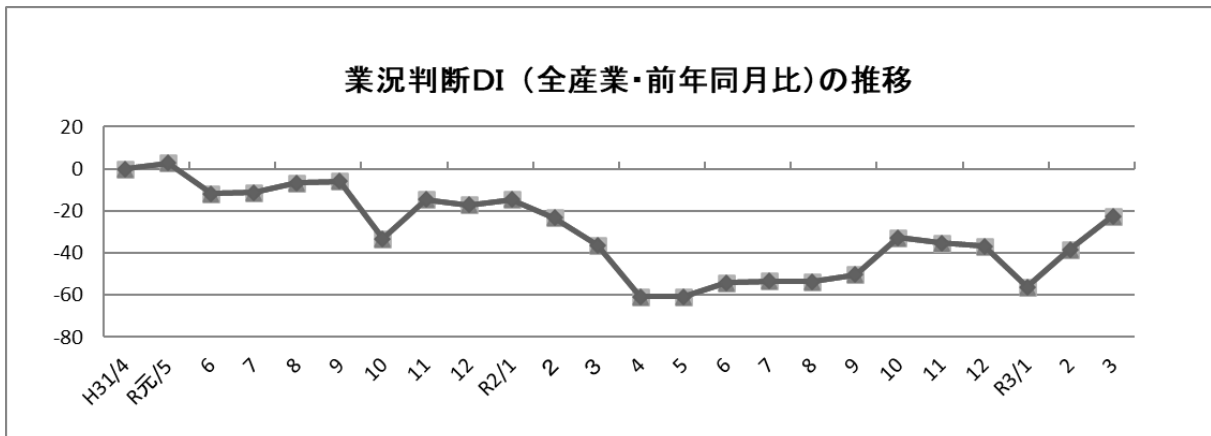
○全産業合計の水準DIは、前月（▲42.0）よりマイナス幅が16.8ポイント縮小し、▲25.2となった。業種別では、卸売業はマイナスからプラスに転じた。サービス業、製造業、飲食業、建設業、小売業ではマイナス幅が縮小した。

業況判断DI

	業況[前年同月比]				今月の水準			
	好転%	不変%	悪化%	DI	良い%	普通%	悪い%	DI
合計	14.0 (12.3)	49.6 (37.0)	36.4 (50.7)	▲ 22.4 (▲ 38.4) ↗	16.1 (8.0)	42.6 (42.0)	41.3 (50.0)	▲ 25.2 (▲ 42.0) ↗
建設業	0.0 (5.0)	80.0 (65.0)	20.0 (30.0)	▲ 20.0 (▲ 25.0) ↗	5.0 (5.0)	65.0 (55.0)	30.0 (40.0)	▲ 25.0 (▲ 35.0) ↗
製造業	13.6 (9.1)	45.5 (40.9)	40.9 (50.0)	▲ 27.3 (▲ 40.9) ↗	22.7 (13.6)	36.4 (40.9)	40.9 (45.5)	▲ 18.2 (▲ 31.9) ↗
卸売業	30.8 (25.0)	46.1 (25.0)	23.1 (50.0)	7.7 (▲ 25.0) ↗	30.8 (8.3)	53.8 (41.7)	15.4 (50.0)	15.4 (▲ 41.7) ↗
小売業	22.2 (29.2)	37.1 (29.1)	40.7 (41.7)	▲ 18.5 (▲ 12.5) ↘	25.9 (16.7)	29.7 (41.6)	44.4 (41.7)	▲ 18.5 (▲ 25.0) ↗
飲食業	15.8 (6.3)	10.5 (6.2)	73.7 (87.5)	▲ 57.9 (▲ 81.2) ↗	10.5 (0.0)	15.8 (25.0)	73.7 (75.0)	▲ 63.2 (▲ 75.0) ↗
サービス業	9.5 (6.8)	64.3 (40.9)	26.2 (52.3)	▲ 16.7 (▲ 45.5) ↗	9.5 (4.5)	52.4 (43.2)	38.1 (52.3)	▲ 28.6 (▲ 47.8) ↗

()内は前月データ

※「業況[前年同月比]」・・・前年同月の業況との比較による回答の集計
「今月の水準」・・・事業主の方の主観による回答の集計



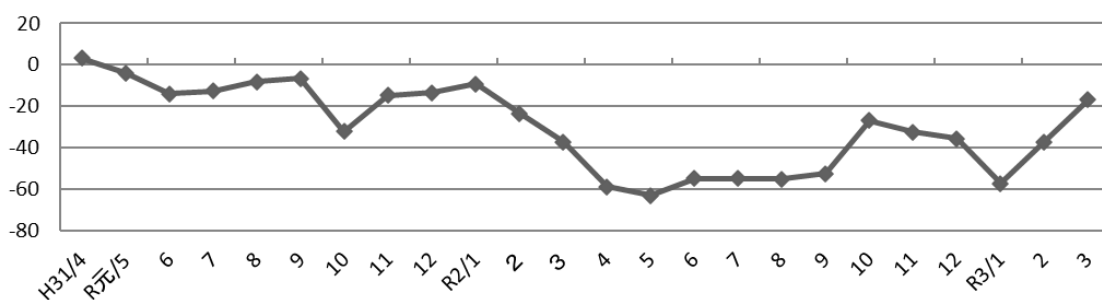
2. 売上高D I（前年同月比）

○全産業合計の売上高D Iは、前月（▲37.0）よりマイナス幅が20.2ポイント縮小して、▲16.8となった。業種別に見ると、卸売業はマイナスからプラスに転じた。サービス業、飲食業、製造業ではマイナス幅が縮小した。小売業、建設業ではマイナス幅が拡大した。

【対前年同月比売上高業種別DIの推移】

	R2年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3年1月	2月	3月
全体	▲37.0	▲58.6	▲63.0	▲54.8	▲54.8	▲54.9	▲52.4	▲26.8	▲32.4	▲35.4	▲57.0	▲37.0	▲16.8
建設業	▲5.0	▲35.0	▲18.2	▲29.2	▲31.8	▲35.0	▲39.1	▲15.8	▲22.8	▲13.6	▲47.4	▲20.0	▲30.0
製造業	▲19.1	▲75.0	▲70.0	▲70.6	▲76.2	▲68.2	▲64.0	▲47.6	▲38.1	▲43.5	▲68.4	▲36.3	▲27.3
卸売業	▲81.8	▲63.6	▲72.7	▲53.8	▲41.7	▲60.0	▲61.5	▲25.0	▲61.5	▲38.5	▲58.3	▲41.7	23.1
小売業	▲46.1	▲50.0	▲72.0	▲32.0	▲66.7	▲43.5	▲36.4	▲13.1	▲17.4	▲7.4	▲38.5	▲8.4	▲11.1
飲食業	▲92.9	▲92.3	▲100.0	▲86.7	▲84.6	▲94.1	▲88.2	▲58.8	▲68.7	▲87.5	▲94.4	▲81.2	▲57.9
サービス業	▲25.5	▲56.8	▲61.4	▲65.9	▲44.2	▲46.7	▲44.1	▲17.4	▲20.5	▲39.6	▲51.3	▲43.2	▲2.4

売上高DI（全産業・前年同月比）の推移



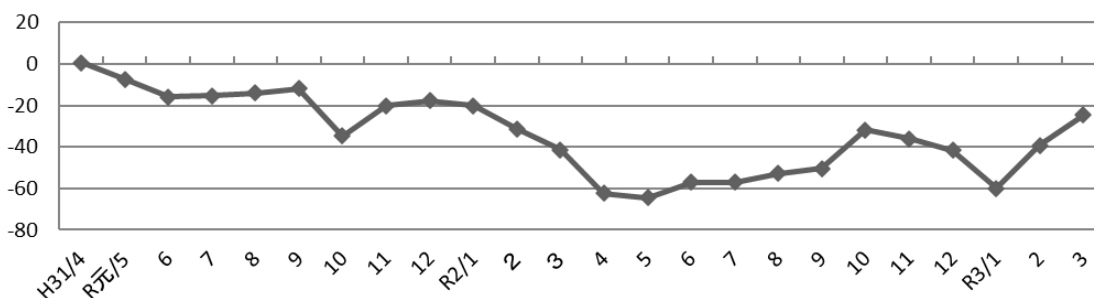
3. 営業利益D I（前年同月比）

○全産業合計の営業利益D Iは、前月（▲39.2）よりマイナス幅が14.7ポイント縮小して、▲24.5となった。業種別に見ると、卸売業はマイナスからプラスに転じた。飲食業、サービス業、小売業ではマイナス幅が縮小した。製造業、建設業ではマイナス幅が拡大した。

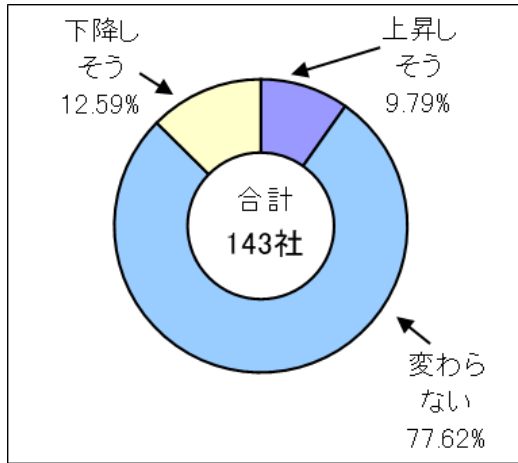
【対前年同月比営業利益業種別DIの推移】

	R2年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3年1月	2月	3月
全体	▲41.5	▲62.5	▲64.5	▲57.0	▲57.1	▲52.8	▲50.3	▲31.9	▲36.0	▲41.7	▲60.0	▲39.2	▲24.5
建設業	▲30.0	▲40.0	▲31.8	▲37.5	▲36.4	▲40.0	▲30.4	▲31.6	▲36.4	▲31.8	▲47.4	▲30.0	▲35.0
製造業	▲38.1	▲81.2	▲65.0	▲82.3	▲90.5	▲59.1	▲60.0	▲52.4	▲57.1	▲56.5	▲73.6	▲31.8	▲31.9
卸売業	▲54.5	▲72.7	▲90.9	▲53.8	▲50.0	▲46.7	▲46.1	▲25.0	▲46.1	▲23.1	▲58.3	▲33.4	7.7
小売業	▲46.2	▲54.2	▲68.0	▲32.0	▲62.5	▲43.5	▲36.3	▲8.7	▲17.4	▲18.5	▲46.2	▲25.0	▲22.2
飲食業	▲85.7	▲92.3	▲100.0	▲86.7	▲84.6	▲94.1	▲94.1	▲70.6	▲81.3	▲87.5	▲94.4	▲81.2	▲52.6
サービス業	▲27.9	▲59.1	▲59.1	▲63.5	▲41.9	▲46.7	▲46.5	▲21.8	▲15.9	▲41.8	▲53.7	▲40.9	▲14.3

営業利益DI（全産業・前年同月比）の推移



◇ 向こう3カ月の見通し ◇

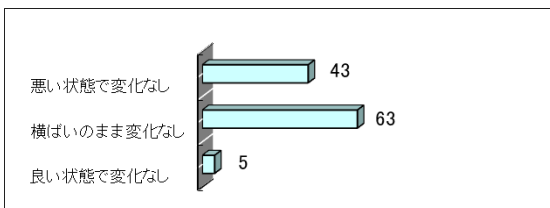


○令和3年4月～令和3年6月の見通しDIは、「上昇しそう」が前月の調査に比べ3.98ポイント減少し9.79%、「下降しそう」が3.17ポイント増加し12.59%となった。業種別の見通しDIは建設業(▲20.0)、製造業(4.5)、卸売業(7.7)、小売業(7.4)、飲食業(▲15.8)、サービス業(▲2.3)であった。

➡「上昇しそう」では「2月補正分と令和3年度分の公共事業が6月までに60%発注されるため」(建設業)「昨年の3～8月はあまりにひどかったため」(製造業)「旬の食材が売れるのを期待しているため」(卸売業)「良い企画がはっきりとあるため」(新装開店したため)「新型コロナウイルス感染症の影響でわからないがよくなるかもしれないため」(昨年新型コロナウイルス感染症でダメージが大きかったが今年は少ないため)「不動産を売却したため」(小売業)「職業訓練受講者数が僅かながら増加傾向のため」(サービス業)といった声が寄せられた。「受注が増加したため」との声が多数寄せられた。

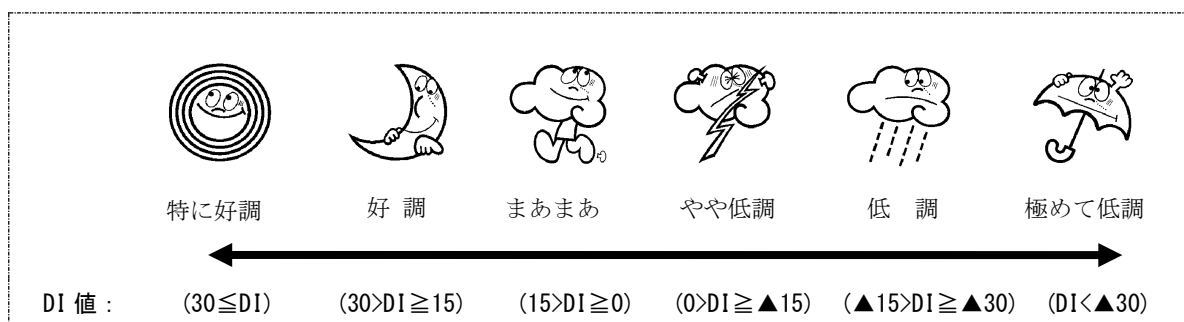
➡「変わらない」では「4月位まではまだ大丈夫と思っているため」(飲食業)「新型コロナウイルス感染症に対する政府の施策次第と考えているため」(回収見込・引き合いはあるが、大きなプロジェクトは見込めないため) (サービス業)といった声が寄せられた。

➡「下降しそう」では「コロナ禍で新規見積及び見積依頼も少ないため」(社員の退職があったため)「公共予算が減少したため」(建設業)「航空業界における新型コロナウイルス感染症の影響があったため」(3月は受注が多かったが、4月以降は減少すると考えているため) (製造業)「コロナ禍が依然として続いているため」(新型コロナウイルス感染症の状況が不透明であり、レベルが上がったら最悪の事態が想定されるため) (小売業)「案件がないため」(サービス業)といった声が寄せられた。「新型コロナウイルス感染症第4波の影響が予想されるため」との声が多数寄せられた。



業種別景況

<DI | 君の景況判断>



1. 建設業



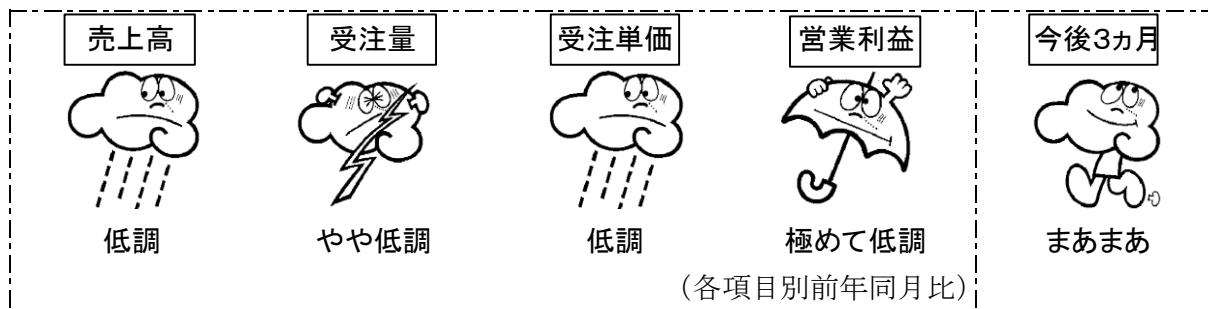
【項目別DIの推移】

	R2年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3年1月	2月	3月
売上高	▲ 5.0	▲ 35.0	▲ 18.2	▲ 29.2	▲ 31.8	▲ 35.0	▲ 39.1	▲ 15.8	▲ 22.8	▲ 13.6	▲ 47.4	▲ 20.0	▲ 30.0
受注量	▲ 25.0	▲ 55.0	▲ 36.4	▲ 29.2	▲ 27.3	▲ 25.0	▲ 34.8	▲ 21.0	▲ 18.2	▲ 27.3	▲ 31.5	▲ 25.0	▲ 30.0
受注単価	▲ 5.0	▲ 15.0	▲ 18.2	▲ 20.8	▲ 18.2	▲ 25.0	▲ 21.7	▲ 10.5	▲ 13.7	▲ 4.5	▲ 15.8	▲ 15.0	▲ 20.0
営業利益	▲ 30.0	▲ 40.0	▲ 31.8	▲ 37.5	▲ 36.4	▲ 40.0	▲ 30.4	▲ 31.6	▲ 36.4	▲ 31.8	▲ 47.4	▲ 30.0	▲ 35.0
見通し	▲ 5.0	▲ 25.0	▲ 13.7	▲ 4.2	▲ 4.6	0.0	▲ 8.7	▲ 10.6	▲ 13.7	▲ 4.6	10.5	0.0	▲ 20.0

<経営者の目・見方・etc>

- 鉄工
 - ・大手の会社はともかく中小は悪い状態に変化なしである。いくらか明るいきざしもあるようである。見積も増えている。
- 土木工事
 - ・下半期の業績が思っていた以上に芳しくない。全体的に月々の試算表の数値が対前年を下廻っている。経営のリズムが悪いのかもしれない。
- 建築工事
 - ・前年が良すぎたのか、前年と比べると下降になってしまうが全般的には横ばい状態である。新型コロナウイルス感染症の影響については直接的にはないと思われる。
- 電気工事
 - ・3月は、工事の竣工現場が多いのでその時点では一時的に良い状況である。ただ4月以降の受注状況は官庁、民間共に厳しい。
- 総合建設
建設業
 - ・材料の価格、特に木材の価格が上昇し、仕入も難しくなる見込みである。
 - ・年度末を迎え完了した現場もいくつかあり、一段落した印象がある。

2. 製造業



【項目別DIの推移】

	R2年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3年1月	2月	3月
売上高	▲ 19.1	▲ 75.0	▲ 70.0	▲ 70.6	▲ 76.2	▲ 68.2	▲ 64.0	▲ 47.6	▲ 38.1	▲ 43.5	▲ 68.4	▲ 36.3	▲ 27.3
受注量	▲ 33.3	▲ 75.0	▲ 75.0	▲ 70.6	▲ 81.0	▲ 59.1	▲ 52.0	▲ 42.8	▲ 33.4	▲ 56.6	▲ 57.9	▲ 31.8	▲ 13.7
受注単価	▲ 4.7	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 35.3	▲ 42.9	▲ 27.3	▲ 20.0	▲ 19.0	▲ 19.0	▲ 17.4	▲ 21.1	▲ 18.2	▲ 18.2
営業利益	▲ 38.1	▲ 81.2	▲ 65.0	▲ 82.3	▲ 90.5	▲ 59.1	▲ 60.0	▲ 52.4	▲ 57.1	▲ 56.5	▲ 73.6	▲ 31.8	▲ 31.9
見通し	▲ 38.1	▲ 31.3	▲ 30.0	▲ 35.3	▲ 23.8	▲ 22.7	▲ 20.0	▲ 33.3	▲ 14.2	▲ 17.4	15.8	18.2	4.5

<経営者の目・見方・e t c>

清酒製造業

・観光地の人の入りは増えているように感じるが、今後新型コロナウイルス感染症の影響でどうなるか先行きが見えない。

漬物・味噌

・HACCPなど具体的な対応が求められてきた。

紙器

・コロナ禍での約1年間だったが、2月頃より少しではあるが売上も伸びて営業状態が良くなってきた。このまま続いていけば良いのだが、先の見通しがかず心配である。

機械

・製造業の求人が増加している感がある。新型コロナウイルス感染症の発生から1年経過し、業界全体で対策徹底がされているが、新型コロナウイルス感染症変異株の第4波拡大については、不安感がある。

精密機械

・新規の案件などが少しずつ増えてきており、明らかに改善傾向が見えてきた。このまま順調に増えてくれればありがたい。

精密機械組立

・受注は回復傾向にあるが、世界的な半導体不足による生産調整が懸念される。

小型情報機器組立

・半導体の入荷が悪い。新型コロナウイルス感染症の広がりが、先を見えなくしている。

ケーブル加工

・電子部品の供給面(購入)で、色々なパーツに納期の遅延が大幅に有り、製品の納期を守る為に高い部品を買わざるを得ない。受注が増えても少しも喜ばない。業績は上向くが利益は出ないかもしれない。




金属塗装

・3月は決算の会社が多かった為か、売上が大幅に伸び利益も出た。4月以降も続くか不安である。まだ新型コロナウイルス感染症の影響は続くと考えている。

印刷

・例年は年度末の学校、官公庁対応の繁忙期である3月なのだが、後半は失速した。急激に仕事が落ち着き4月の納品ベースでの落ち込みが懸念される。地元印刷資材ディーラー営業が地元同業他社の廃業を知らないと言う事実があり、地元業界の全体最適は到底叶いそうに無いと思われる。

3. 卸売業

売上高	受注量	受注単価	営業利益	今後3ヵ月
				
好調	まあまあ	好調	まあまあ	まあまあ

(各項目別前年同月比)

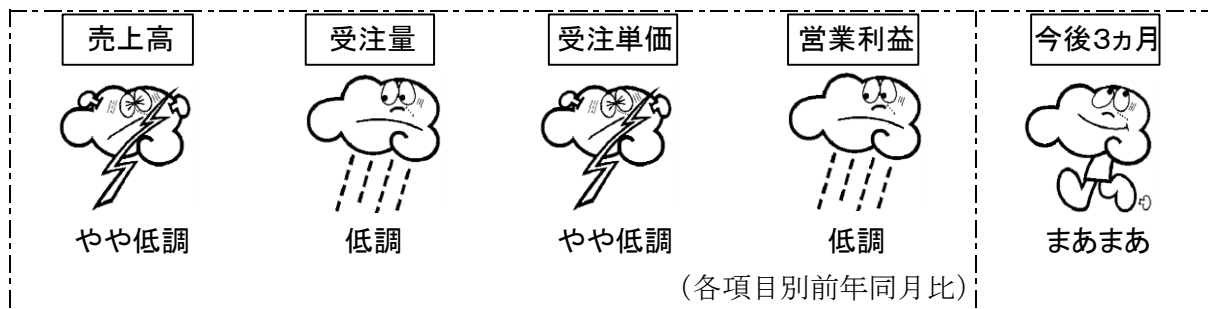
【項目別DIの推移】

	R2年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3年1月	2月	3月
売上高	▲ 81.8	▲ 63.6	▲ 72.7	▲ 53.8	▲ 41.7	▲ 60.0	▲ 61.5	▲ 25.0	▲ 61.5	▲ 38.5	▲ 58.3	▲ 41.7	23.1
販売客数	▲ 54.5	▲ 45.5	▲ 54.5	▲ 30.8	▲ 25.0	▲ 33.3	▲ 30.8	▲ 16.7	▲ 30.8	▲ 30.8	▲ 33.3	▲ 33.3	7.7
販売客単価	▲ 54.5	▲ 45.5	▲ 27.3	▲ 15.4	▲ 33.4	13.3	▲ 30.8	▲ 16.7	▲ 15.4	▲ 7.7	▲ 33.3	▲ 41.7	15.4
営業利益	▲ 54.5	▲ 72.7	▲ 90.9	▲ 53.8	▲ 50.0	▲ 46.7	▲ 46.1	▲ 25.0	▲ 46.1	▲ 23.1	▲ 58.3	▲ 33.4	7.7
見通し	▲ 45.5	▲ 36.4	▲ 45.5	▲ 7.7	▲ 8.3	0.0	7.7	▲ 8.3	▲ 15.4	▲ 23.1	8.4	25.0	7.7

<経営者の目・見方・e t c>

- 青果
 - ・前年との単価比同月比で野菜が90%果実が110%売上は107%であったが販売環境は厳しい。業態によっては年間を通じて大変な所も多い。1都3県の緊急事態宣言が解除されたが、非常に怖い部分である。
- 青果卸小売業
 - ・年度末のせいなのか市内で車が多い感じがした。人の外出が多くなったように感じる。
- 魚介類
 - ・東北信の新型コロナウイルス感染症がこれ以上広がらない事を願っている。
- 土産品
 - ・売上、収益とも厳しい状況が続いている。緊急事態宣言解除により観光客は増えてきたが販売増には至っていない。
- 機械工具
 - ・3月、4月は低調の様子である。
 - ・商品が動き出した。
- 金属製品
 - ・板関連のタイト感は未だ解消されず、各メーカーは依然強気の姿勢であり、角パイプや丸パイプ等の二次製品の値上げが本格化してきた。自動車、半導体、産機、建機の仕事量は回復の方向にあるが、建築は足元物件が薄い状況である。
- 自転車
 - ・海外生産が多いが、原料のアルミが不足しており入荷が大きく遅れている。特に中国では、輸入のコンテナの箱自体も足りてない。先行発注をしているが、新型コロナウイルス感染症の影響が予想しづらい。

4. 小売業



【項目別DIの推移】

	R2年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3年1月	2月	3月
売上高	▲ 46.1	▲ 50.0	▲ 72.0	▲ 32.0	▲ 66.7	▲ 43.5	▲ 36.4	▲ 13.1	▲ 17.4	▲ 7.4	▲ 38.5	▲ 8.4	▲ 11.1
販売客数	▲ 61.5	▲ 62.5	▲ 68.0	▲ 44.0	▲ 54.1	▲ 30.4	▲ 36.4	▲ 26.1	▲ 26.1	▲ 29.7	▲ 53.9	▲ 20.8	▲ 18.5
販売客単価	▲ 26.9	▲ 25.0	▲ 28.0	▲ 12.0	▲ 37.5	▲ 21.7	▲ 31.9	▲ 4.3	▲ 21.7	▲ 3.7	▲ 7.7	▲ 8.3	▲ 14.8
営業利益	▲ 46.2	▲ 54.2	▲ 68.0	▲ 32.0	▲ 62.5	▲ 43.5	▲ 36.3	▲ 8.7	▲ 17.4	▲ 18.5	▲ 46.2	▲ 25.0	▲ 22.2
見通し	▲ 61.6	▲ 45.8	▲ 32.0	▲ 20.0	▲ 25.0	▲ 17.4	0.0	▲ 8.7	▲ 8.7	▲ 18.5	▲ 3.8	0.0	7.4

<経営者の目・見方・etc>

陶磁器

・昨年も記録的な温かさで桜も早かったが、今年はそれ以上に春めいた月になった。全国的に新型コロナウイルス感染症の感染が落ち着くと、観光客も人通りも増え、賑わいを感じることも多かった。医療関係者によると、次の新型コロナウイルス感染症の拡大はウイルスの型が変わるので、第4波ではなく、別の感染症「新型コロナウイルス感染症変異株」の第1波のつもりで備えた方がよいそうである。

印章

・高等学校、信州大学の合格発表後の20日、21日の連休から街中に賑わいが出てきた。観光客も少しずつ入ってきている。婚姻届、離婚届への押印が廃止される予定だったがが任意に変更された。これから結婚される方は、ぜひ婚姻届に署名捺印をしてもらいたいと思う。

印章・刃物研ぎ

・人出は戻りつつある様に感じるが、店側も不安がいっぱいの対応が続いている。

婦人服

・新型コロナウイルス感染症の中お客様の「楽しみたい」を企画に取り入れて（話題や、プレミアム、ディスプレイ等）発信していく。昨年とは違った動きがある。

化粧品

・若い人の外出はあるが、中高年の方の外出がほとんどないような状況である。買い物を楽しみに街に出てくる機会が少なくなっていることは寂しいことである。

住宅機器

・国の助成金、補助金を上手く使って売上を成長させていきたい。

パン

・3月は新型コロナウイルス感染症が目立った動きもあまり無かったためか、3月後半、春休みシーズンにお客様の動きがあった。観光客らしき方が多数来店した。

洋菓子店

・新型コロナウイルス感染症騒動が1年経った。去年に比べると、3月の送迎用に使用されるギフト商品が多く出た。収束まではまだ時間がかかると考えると、同じような1年が、今年も続くと思われる。頑張るしかない。

和菓子

・行事が中止になる事が少なかったのか、知人等に土産を持っていく人が多かった。

おやき	・ 宿泊関係の注文が大幅に減っている。道の駅、直売所、スーパー等は売上を維持しているが、新型コロナウイルス感染症の感染の広がり次第では不透明に思える。新型コロナウイルス感染症の変異株は特に気がかりである。
生鮮食品	・ 前年の3月は新型コロナウイルス感染症が広がり始め、時短や休業をしたが、今年はまだ警戒レベルではあるが天候もよく県外からの人も多かったため土日は車が混んでいた。
薬局	・ 歓送迎会がない為、飲む前に寄るお客様がほぼない。

5. 飲食業



【項目別DIの推移】

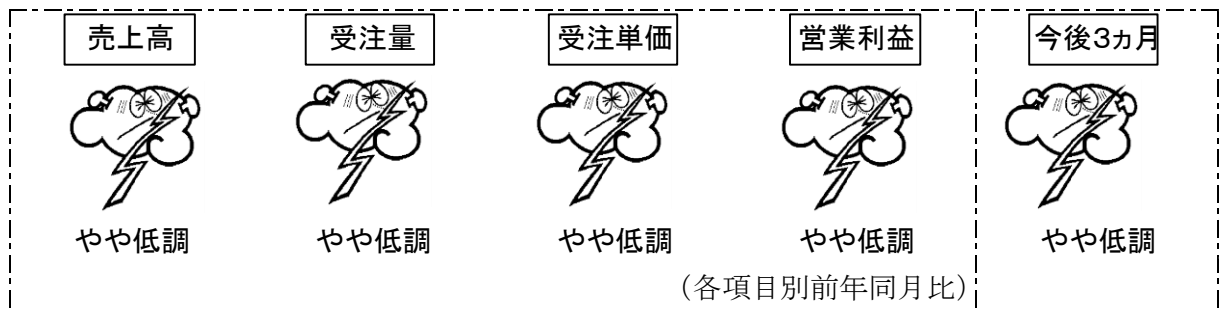
	R2年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3年1月	2月	3月
売上高	▲ 92.9	▲ 92.3	▲ 100.0	▲ 86.7	▲ 84.6	▲ 94.1	▲ 88.2	▲ 58.8	▲ 68.7	▲ 87.5	▲ 94.4	▲ 81.2	▲ 57.9
販売客数	▲ 92.9	▲ 92.3	▲ 100.0	▲ 86.7	▲ 84.6	▲ 94.1	▲ 94.1	▲ 70.6	▲ 68.7	▲ 93.8	▲ 94.4	▲ 81.2	▲ 52.6
販売客単価	▲ 57.1	▲ 69.2	▲ 81.3	▲ 66.7	▲ 61.5	▲ 64.7	▲ 47.0	▲ 52.9	▲ 56.3	▲ 75.0	▲ 66.7	▲ 81.2	▲ 31.6
営業利益	▲ 85.7	▲ 92.3	▲ 100.0	▲ 86.7	▲ 84.6	▲ 94.1	▲ 94.1	▲ 70.6	▲ 81.3	▲ 87.5	▲ 94.4	▲ 81.2	▲ 52.6
見通し	▲ 71.4	▲ 46.2	▲ 18.7	▲ 26.6	▲ 23.1	▲ 41.2	▲ 23.5	▲ 23.5	▲ 37.5	▲ 37.5	▲ 22.2	▲ 18.8	▲ 15.8

<経営者の目・見方・etc>

郷土料理	・ 3月に入り、暖かい日が続き人出がやや増えた様である。2月に比べ、3月の売上は前年比20%くらい増えている。3月の後半に緊急事態宣言が解除になり、他県からの来客がちらちらある。消毒等気をつけているが、ぶり返すことがない様に祈る。
食堂	・ 規制が多少緩和されたせいか、人出が多く土日のイオンモール周辺は車が渋滞するほどで、来客数も多く売上増となった。 ・ 3月後半は人の動きも多く売上も良かったが、例年通りには行かなかった。予約がないのが痛い。 ・ 長野県内にも新型コロナウイルス感染症の第4波が徐々に流行しはじめているのを感じる。松本の新型コロナウイルス感染症の感染者が増えればお客は減る。
中華料理	・ 人通りがない。
そば	・ 東京の緊急事態宣言が解除され人の流れが徐々に増えつつも飲食を控える姿が見受けられる。夜の宴会等の予約もなくまだまだ先が見えない状態が続く。
寿司	・ 2月と比べると3月は、徐々に客数が増えてきた感じがある。しかしながら夜は8時過ぎにはめっきり人影が減り営業的には低調が続いている。

料理	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言が緩和されて来客数が急激に増えた。売上は予想以上に上昇し嬉しい反面、世間の警戒心が薄れている事に対して今後が非常に心配である。
創作料理	<ul style="list-style-type: none"> 前年比では大きく回復基調となったが、それも比較対象が昨年新型コロナウイルス感染症の影響が出始めた3月であるためであり、新型コロナウイルス感染症の流行前までは未だ戻らないのが現状である。但し、食事中心の店舗は新型コロナウイルス感染症の流行前の水準を上回るなど好調であるが、アルコール、宴会関係は未だ厳しい流れが続くことが予想される。
居酒屋	<ul style="list-style-type: none"> 送別会や高校入試を始め人の気持ちが緩む3月だが暇な月が続いた。これから先も不安定な日が続くそう。 本来ならば3月は稼ぎ時であるが、相変わらず新型コロナウイルス感染症に翻弄され、感染力の強い変異株まで出る始末である。予約が入らない状態が続いている。3月の来店組数は2組11人のみである。近くの居酒屋もずっと店を閉めている。当店の地域は高齢者率が高く、来客は60歳以上の方が多い。女性客もこの時期多いため敏感である。暖かくなればよくなると思っていたが先行きが見えていない。 暖かくなり人出が多く県外からの若者の帰省があり、新型コロナウイルス感染症収束にはまだまだの気がする。これからの営業が増々厳しい状況になりそうである。

6. サービス業



【項目別DIの推移】

	R2年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3年1月	2月	3月
売上高	▲ 25.5	▲ 56.8	▲ 61.4	▲ 65.9	▲ 44.2	▲ 46.7	▲ 44.1	▲ 17.4	▲ 20.5	▲ 39.6	▲ 51.3	▲ 43.2	▲ 2.4
販売客数	▲ 32.5	▲ 59.1	▲ 54.5	▲ 63.4	▲ 46.5	▲ 44.5	▲ 41.9	▲ 19.6	▲ 18.1	▲ 34.9	▲ 56.1	▲ 43.2	▲ 11.9
販売客単価	▲ 16.2	▲ 31.8	▲ 36.4	▲ 39.1	▲ 25.6	▲ 20.0	▲ 20.9	▲ 8.7	▲ 6.8	▲ 14.0	▲ 24.4	▲ 27.2	▲ 2.4
営業利益	▲ 27.9	▲ 59.1	▲ 59.1	▲ 63.5	▲ 41.9	▲ 46.7	▲ 46.5	▲ 21.8	▲ 15.9	▲ 41.8	▲ 53.7	▲ 40.9	▲ 14.3
見通し	▲ 44.2	▲ 34.1	▲ 20.5	▲ 9.7	▲ 11.6	▲ 13.4	▲ 4.6	▲ 6.5	▲ 16.0	▲ 23.3	▲ 12.2	4.5	▲ 2.3

<経営者の目・見方・e t c>

温泉旅館	<ul style="list-style-type: none">・県民支えあい家族宿泊割の効果と春休みのファミリー層、卒業旅行等の要因でグループサイズが大きかった事により前年に比べ大幅に売上高が良かった。4月は県内の新型コロナウイルス感染症の感染者数が多くなり、国の補助事業が遅れると思われるので、その間客足は落ちると予測している。県内の警戒レベルが下がって早く国の補助事業の恩恵を受ける事ができると有難い。・来客数がなく仕事にならない。
旅館	<ul style="list-style-type: none">・3月より新型コロナウイルス感染症の影響が顕著になり、今年も新型コロナウイルス感染症の影響がおさまらない。
ホテル	<ul style="list-style-type: none">・昨年の3月から新型コロナウイルス感染症のため、最悪の状況が続いている。何ともならない。・新型コロナウイルス感染症の感染再拡大が起きそうな様子である。
ビル・住宅総合メンテナンス	<ul style="list-style-type: none">・一日も早く新型コロナウイルス感染症の収束を願いたい。日常の生活スタイル、友人との関わり方、仕事の仕方の変化について行くのに大変な世の中になりストレスが大きい。この先の経済がどう動くのか注視していきたい。
リラクゼーション ペットサービス	<ul style="list-style-type: none">・緊急事態宣言の影響が大きかった。・3月もホテルの利用は減ったが来店数、売上高共に前年を上回った。4月も社員の健康管理に注意しながら、仕事に取り組んでいきたい。
写真	<ul style="list-style-type: none">・3月末は観光客をはじめ人出が増えた。・少なからず新型コロナウイルス感染症の影響はあるが、昨年の3月は卒業式、イベントなどがどんどん中止となっていった時期だったので今年度は学校行事も無事に行われ写真の撮影もあった。新型コロナウイルス感染症の感染もまた広がって来ている。今後のことは予想出来ない状況だ。
教育業	<ul style="list-style-type: none">・新型コロナウイルス感染症も落ちつきつつある中、後半にまた、感染者数上昇傾向もあり今後も厳しい状況はしばらく続きそうだと危惧している。
測量・設計	<ul style="list-style-type: none">・年度切り替えで新年度予算発注まで仕事が動かない、また選挙もあるので新年度発注の遅れが懸念される。新型コロナウイルス感染症対策の徹底をしているが第4波の影響も懸念している。
測量・建設コンサルタント業	<ul style="list-style-type: none">・受注に結び付かない。3月工期の業務が多く、3月中は忙しかったが、4月から仕事がない。
機械設計 自動車整備・板金塗装	<ul style="list-style-type: none">・新年度の案件が少なく、まだ決まっていない。半導体の製造業は忙しそうだ。・前年よりも落ち込みが大きいかわられたが以外にも平年並であった。新型コロナウイルス感染症の影響も少なからずあったと思われるが、自動車業界にはこれから出てくるのではないかと不安である。
タクシー	<ul style="list-style-type: none">・新型コロナウイルス感染症の感染拡大が始まって一年が過ぎて、警戒レベルが一時下がり、移動の時期でも前年より客数は増えた。
ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none">・構造的に下請け業務が多いが、リモートからの作業を活用し、思ったよりも新型コロナウイルス感染症の影響は大きくない。内容的には変化なく顧客からの社内業務のシステム化・運用支援であるが、今後、2025年問題(エンジニアの引退など)を見据えた対策が重要になると思う。